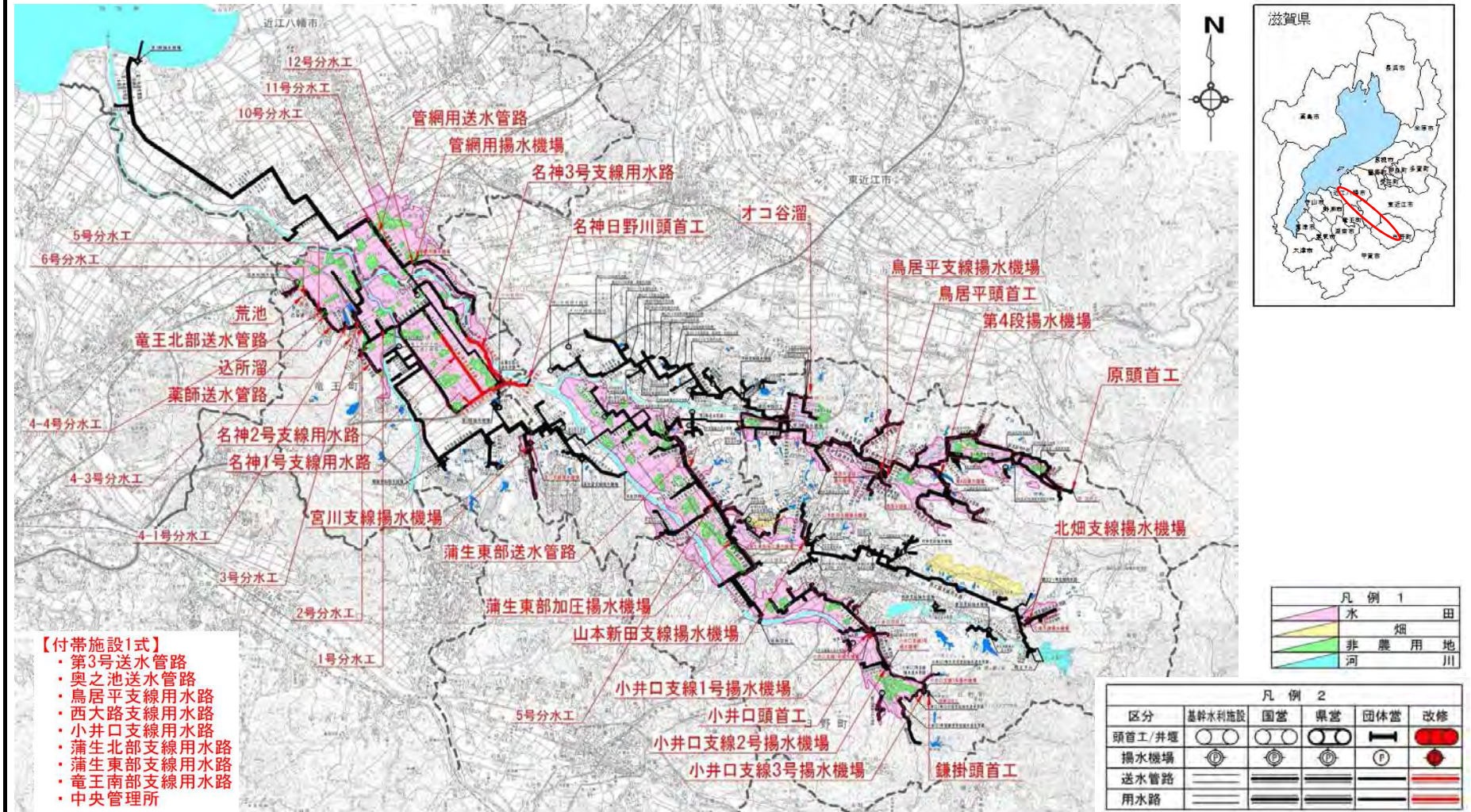


地区別事業概要

事業名	農業水利施設保全合理化事業		地区名	ひのがわ 日野川
関係市町村	しがけんおうみはちまんし ひがしおうみし ひのちよう 滋賀県近江八幡市、東近江市、日野町、 りゅうおうちよう 竜王町		事業主体	滋賀県
事業目的	本地区は、滋賀県の琵琶湖南東部に位置し、水稻を基幹として小麦、大豆、野菜等を組み合わせた営農が展開されている。 地区内の基幹的な農業水利施設は、県営日野川土地改良事業（昭和52年度～平成15年度）により造成されたが、事業完了後、経年変化に伴い、施設の老朽化がみられ、維持管理に多大な費用と労力を要し、農業用水の安定供給に支障を来している。 このため、本事業より農業水利施設の機能を保全するための整備を行うことにより、施設の長寿命化、施設の維持管理の費用と労力の軽減及び農業用水の安定供給を図り、本地域の生産効率の向上及び競争力のある「攻めの農業」の実現に資するものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	2,416ha	1,863戸	1,970百万円	H27～H36年度
	主要工事	頭首工 5箇所、揚水機場 10箇所、用水路 5km、 ため池 3箇所		
	関連事業	国営かんがい排水事業 日野川地区		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	33,202百万円	30,920百万円	1.07	総費用総便益比方式
概 要 図	別添のとおり			

概要図

農業水利施設保全合理化事業 日野川地区



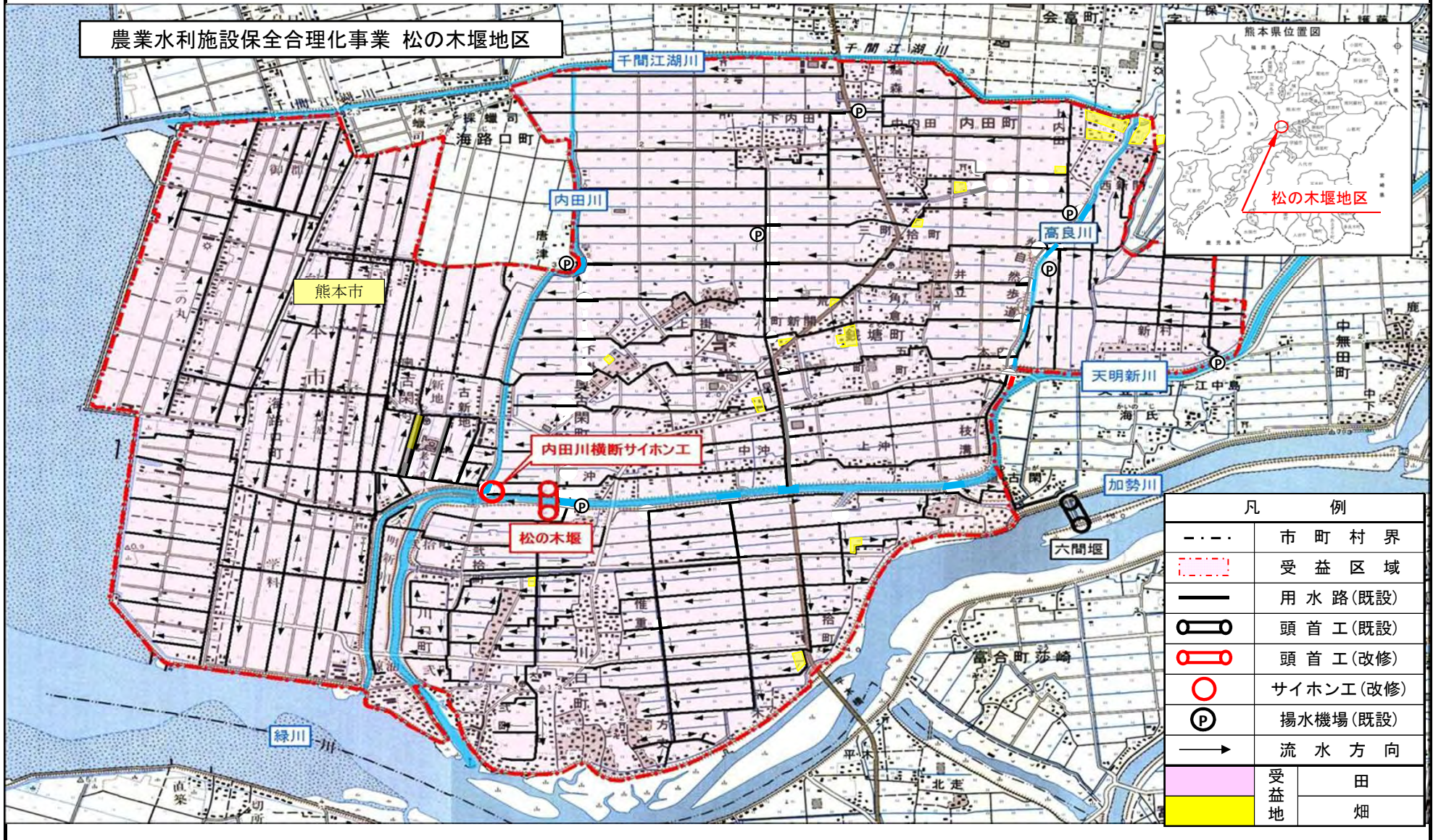
地区別事業概要

事業名	農業水利施設保全合理化事業		地区名	まつのきぜき 松の木堰
関係市町村	熊本県 ^{くまもとし} 熊本市		事業主体	熊本県
事業目的	本地区は、熊本市の西部に位置し、水稻を中心とした営農が展開されている。 地区内の頭首工等は、造成から５６年が経過し、躯体の老朽化が著しく、また、鋼製ゲートは、上下流の水位差が大きいと操作が出来ない状況にある。さらには河川断面内の堰柱が通水を阻害し、上流側の水位上昇を引き起こし、洪水時には溢水による多大な被害を引き起こす可能性がある。 このため、本事業により、頭首工等の改修を行い、施設の安全性を高め用水の安定供給を図ることにより、農業経営の安定並びに担い手への農地集積を促進し、本地域の生産効率の向上及び競争力のある「攻めの農業」の実現に資するものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	1,001ha	1,599戸	1,949百万円	平成27～31年度
	主要工事	頭首工 1箇所 用水路 0.1km		
	関連事業	なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	14,374百万円	11,296百万円	1.27	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：松の木堰地区土地改良事業計画概要書（熊本県農村計画課作成）

概要図

農業水利施設保全合理化事業 松の木堰地区



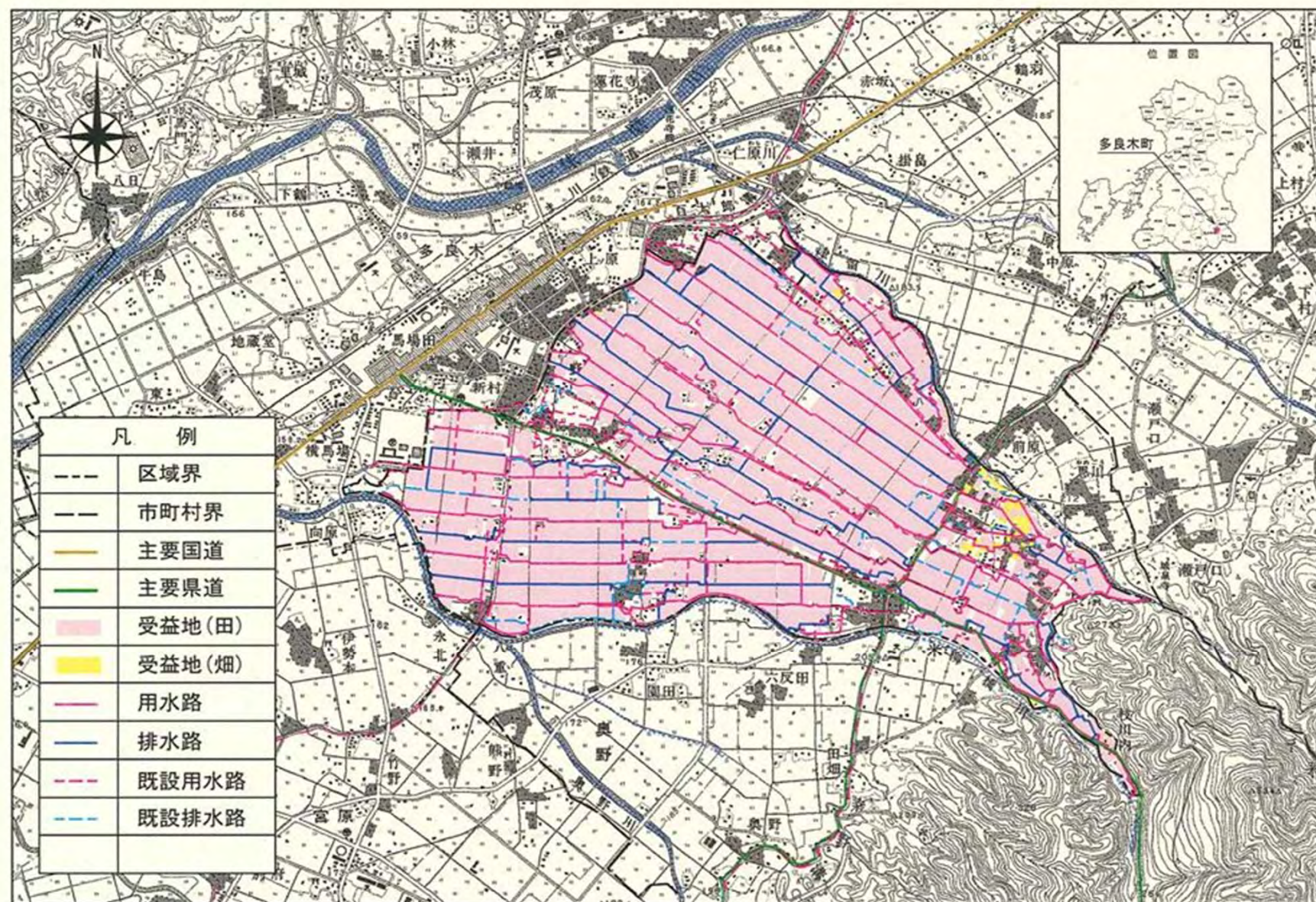
地区別事業概要

事業名	農業水利施設保全合理化事業		地区名	だいにたらぎ 第二多良木
関係市町村	くまぐんたらぎまち 熊本県球磨郡多良木町		事業主体	熊本県
事業目的	本地区は、山と球磨川に挟まれた平坦な水田地帯で、水稻を中心に、大豆、野菜等を組み合わせた土地利用型農業が展開されている。 地区内の用排水路は、昭和 50 年代の県営ほ場整備事業（多良木地区）等で整備が行われたが、整備から時間が経過し、用水路の不同沈下による越水・漏水等により用水不足が生じ水管理に苦慮するとともに、用排水施設は老朽化の進行で維持管理に多大な労力を費やしている。 このため、本事業により用排水路の適正勾配への調整、必要断面への更新などを行うことにより、既存の水利システムを更新し、水利用・水管理の効率化・省力化や水利施設の安全性向上を進め、本地域の生産効率の向上及び競争力のある「攻めの農業」の実現に資するものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	336ha	394 戸	2,522 百万円	平成 27 ～ 33 年度
	主要工事	用水路 32km 排水路 19km		
	関連事業	県営農村地域防災減災事業 仁原地区		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	6,452 百万円	3,086 百万円	2.09	総費用総便益方式
概要図	別添のとおり			

出典：第二多良木地区土地改良事業計画概要書（熊本県農村計画課作成）

概要図

農業水利施設保全合理化事業 第二多良木地区



地区別事業概要

事業名	農業水利施設保全合理化事業		地区名	だいさんかさのほら 第三笠野原
関係市町村	鹿 ^{かの} 児 ^{やし} 島 ^き 県 ^{もつ} 鹿 ^{ぐん} 屋 ^き 市 ^{もつ} 、肝 ^き 属 ^{ちよう} 郡 ^き 肝 ^{もつ} 付 ^{ちよう} 町		事業主体	鹿児島県
事業目的	本地区は、鹿児島県大隅半島の中央部に位置し、畑地かんがい用水を利用した露地野菜、工芸作物及び飼料作物を主体とした農業が展開されている。 地区内の畑地かんがい施設は、昭和57年度に完了して以来、水を利用した農業が営まれているが、近年、施設の老朽化に伴う破損や錆が発生しており、その機能が著しく低下している。特に、給水栓においては錆の発生による漏水が多発しており、早急な改修が必要となっている。 このため、本事業により畑地かんがい施設を整備し、農業用水を確実に供給することで、農業経営を安定させ、本地域の生産効率の向上及び競争力のある「攻めの農業」の実現に資するものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	2,452ha	3,824戸	2,700百万円	平成27～36年度
	主要工事	畑地かんがい 2,452ha		
	関連事業	国営かんがい排水事業 笠野原地区		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	25,817百万円	13,289百万円	1.94	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：第三笠野原地区土地改良事業計画概要書（鹿児島県農地整備課作成）

概 要 図

農業水利施設保全合理化事業 第三笠野原地区

